

抗議の要請文

11月6日の原子力潜水艦ミシシッピの横須賀入港に強く抗議する。横須賀は、原子力潜水艦の母港ではない。原子力潜水艦ミシシッピはただちに横須賀港から出て行くこと強く要求する。

米海軍第7艦隊司令官	フィリップス・ソーヤー中將	殿
在日米海軍司令官	グレゴリー・フェントン少將	殿
米海軍横須賀基地司令官	ジェフリー・キム大佐	殿

神奈川県労働組合総連合
 新日本婦人の会神奈川県本部
 神奈川県商工団体連合会
 神奈川県平和委員会
 安保廃棄神奈川県統一促進会議
 原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会
 原水爆禁止神奈川県協議会

11月6日午前10時44分、バージニア級攻撃型原子力潜水艦ミシシッピが横須賀基地に入港した。今年の原子力潜水艦の入港は10回目、原子力艦船の入港は12回目で通算950回となった。

現在、北朝鮮をめぐる情勢は、弾道ミサイルの発射など非常に緊迫している。私たちは、北朝鮮の度重なる暴挙に対して厳しく抗議する。この問題解決は、国連安保理声明が述べているように外交的解決が重要である。そのためには、軍事一辺倒の圧力強化では打開できない。経済制裁の全面実施・強化を進める目的は対話にある。関係国が北朝鮮との対話・外交交渉に踏み切り、その中で核や弾道ミサイル開発を断念させ放棄を迫ることが肝要である。

横須賀を母港とする米原子力空母ロナルド・レーガンと日米韓艦船などによる朝鮮半島近海での軍事演習がこの間頻繁に行われている。朝鮮半島近海・日本海での軍事演習は、北朝鮮を軍事的に牽制し緊張関係をいっそう強め問題の解決にとってマイナスとなる。

このような中での原子力潜水艦ミシシッピの横須賀入港は、一連の軍事展開の中の入港と考えられる。横須賀基地を軍事拠点にしたこのような軍事行動は直ちにやめるべきであり、原潜ミシシッピの横須賀入港に強く抗議する。

米原潜の核兵器搭載、核持ち込みの疑惑も払拭されていない。非核三原則を国是とする日本の港に核兵器を持ち込むことは絶対に許されない。米艦船は核兵器を積んでいないことを証明するとともに、核密約はただちに破棄することを要求する。

現在、首都圏は巨大地震発生の可能性が強まり発生時の原子力艦船の原子炉事故の可能性は増大している。米軍は、地震や津波などの原子力艦船の事故対策をまともに講じようとしていない。あらためて原子力艦船の事故対策を明らかにし、情報を公開することを要求する。

横須賀基地を戦争の出撃拠点にし、市民を放射能被害の危険にさらす原子力艦船の母港化、入出港はただちにやめること。原潜ミシシッピは直ちに横須賀から出て行くことを要求する。

以上